

事業の背景や施設の課題

北アルプスの稀有な山岳景観と豊かな自然環境に恵まれ、登山やスキーを中心とした観光で発展を遂げてきた白馬村。民宿発祥の地であり、スキーブームや長野五輪、インバウンドなど、国内外から多くの人々を受け入れ、多様なコミュニティが形成されている。地域内外の人々の交流が街の活力を育むという考えのもと、村の基本理念を「多様であることから交流し学びあい成長する村」と定めているが、それを具現化する場がないことが課題となっている。街の中心部にある既存の図書館や子育て支援施設は、空き施設を跡利用してそれぞれ単独で運営しているが、老朽化等の課題があり、それらを集約化・複合化し、世代や地域を超えて人々が集い、交流や学びあいから成長を生み出す核となる複合施設を整備する。

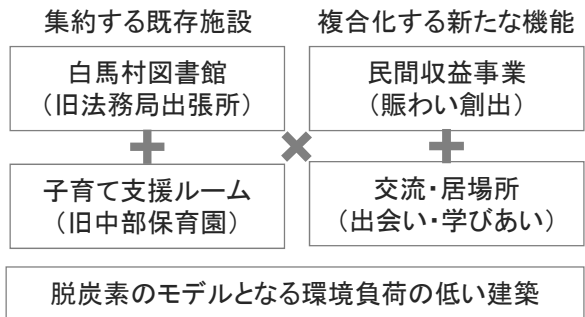
■ 図書館等複合施設の基本方針

- ・図書館機能(約1,200㎡)
- ・子育て支援機能(約800㎡)
- ・その他の機能
民間収益施設
公園・屋外広場等



事業・調査の概要

■ 既存公共施設・インフラの集約・再編



- その他の機能(例)
- ・イベント・展示スペース
 - ・カフェ・キッチン
 - ・コワーキングスペース
 - ・防音室
 - ・メイカースペース
 - ・健康医療サービス
 - ・リペア・リユース
 - ・コミュニティカレッジ

調査の流れ

1. サウンディング調査
2. 民間収益事業検討
3. 事業スキーム検討
4. VFM算出
5. 交流創出価値比較
6. 総合評価・課題整理
7. 要求水準検討

複合施設の建設・維持管理・運営等に要する費用の縮減だけでなく、いかに交流による価値を生み出せるかという視点でも評価・比較を行う。

必要経費(補助金要望額)

官民連携調査委託費
20,996千円(うち、補助金20,000千円)

検討経緯／事業化スケジュール

- 2017～ 白馬村図書館施設検討委員会による検討・報告
- 2018～ 図書館等複合施設有識者会議・ワークショップ開催
- 2019.3 白馬村図書館等複合施設基本構想策定
- 2020.3 白馬村図書館等複合施設基本計画策定
- 2022 官民連携事業調査
- 2023～ 業者選定・設計施工等

先導性・汎用性

- ・官民連携の実績が少ない人口1万人未満の小規模自治体(町村)における複合施設整備のモデル的事例となり得る。
- ・多くの自治体で直面している公共施設の維持管理に対して、集約化・複合化により相乗効果を生み出す事例として他の自治体の参考となり得る。
- ・村の基本理念を具現化するための拠点施設であり、人口減少や少子化対策、教育、福祉、多文化共生、防災減災、気候変動、コンパクトシティなど今後のまちづくりにおいて幅広い効果を創出するSDGsに直結する事業である。

令和4年度 先導的官民連携支援事業

○調査主体

項目	記入欄	
調査主体名	長野県白馬村	
調査名	白馬村図書館等複合施設官民連携事業調査	
連絡先	(住所)	〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村大字北城7025番地
	(担当)	白馬村教育委員会事務局 生涯学習スポーツ課
	(電話)	0261-85-0726
	(E-mail)	gakushu@vill.hakuba.lg.jp

○事業内容

事業概要の補足	<p>■集約する既存施設 (1)白馬村図書館 所有・運営：白馬村（運営経費：1,200万円/年） 面積400㎡、来館者数15,000人/年、蔵書冊数55,000冊 (2)白馬村子育て支援ルーム 所有・運営：白馬村（運営経費：1,800万円/年、利用料収入280万円/年） 現在：面積400㎡、利用者数4,000人/年</p> <p>■新たな複合施設 (1)図書館機能（約1,200㎡） (2)子育て支援機能（約800㎡） (3)その他（民間収益事業、公園・屋外広場、その他交流を生み出す機能） ・北アルプスの眺望を楽しみながら「白馬らしさ」を存分に感じられる ・世代や地域を超えた交流により、学びと成長、共生を促進する ・持続可能な地域や脱炭素社会への転換を象徴し人々に意識づける 上記の3点を実現する複合施設の整備・運営について、官民連携の可能性を調査する。</p>
内容審査項目に関する補足情報	<p>人口1万人未満の町村における官民連携実績は乏しく、先導的な事例としてとなり得る。（先導性）</p> <p>公共施設の集約化・複合化により維持管理費の削減のみならず多様な人々の交流により高い相乗効果を生み出す事例として他の自治体の参考となり得る。（汎用性・有効性）</p> <p>村の総合計画・総合戦略にも記載のある、村の基本理念を具現化するための拠点施設整備であり、人口減少や少子化対策、多文化共生、防災減災、気候変動、コンパクトシティなど今後のまちづくりにおいて幅広い効果を創出するSDGsに直結する事業である。（有効性）</p> <p>これまでに7年間かけて様々なアンケートやワークショップ、会議等で意見集約や議論を重ね、必要な財源を基金に積み立てるなど、実現可能性は限りなく高い。（実現可能性）</p>